



2023年10月15日発行
発行：墨東化成工業株式会社
住所：墨田区千歳1-8-14



富嶽三十六景 本所立川

葛飾北斎を数字でご紹介：前編



葛飾北斎は、日本を代表する江戸後期の浮世絵師で、現在でも海外で最も名の知れた日本の画家です。1760年10月31日に下総国本所割下水の傍ら（現・東京都**墨田区**の一角）にて生を受けました。代表作に『富嶽三十六景』や『北斎漫画』があり、右上の「富嶽三十六景 本所立川」は出生地割下水の側を流れる立川を描いたものです。

46



富嶽三十六景は富士山を主題として描かれた大判錦絵による風景画で36図ある事から『富嶽三十六景』と名付けられました。当時大変好評を博し、それを受けて**10図追加され最終的に計46図となりました。**

72



北斎は6歳から好んで絵を描くようになり、15歳から彫師の修行を開始したとされています。**富嶽三十六景、発表当時の年齢は、なんと72歳。**ちなみに北斎は実際の風景を見て描いたわけではなく、過去の名所図絵を見て46ヶ所の風景画を描き出しました。

すみだ北斎美術館

葛飾北斎は生涯のほとんどを墨田区内で過ごし、優れた作品を数多く残しました。この郷土の偉大な芸術家を区民の誇りとして顕彰するとともに、地域活性化の拠点として「すみだ北斎美術館」を開設しました。北斎にちなんだユニークな企画展では他にはない体験ができるのも特徴です。芸術の秋、北斎の魅力に触れてみるのはいかがでしょうか。

企画展：「隅田川両岸景色図巻（複製画）と北斎漫画」
2023年6月13日(火)～2023年11月26日(日)
「北斎のまく笑いの種」
2023年9月20日(水)～2023年11月26日(日)

開館時間：9:30～17:30(入館は17:00まで)
休館日：月曜日 ※祝日により変動がございます。



ハンドル付き
ポリ袋
7ℓ入り×2袋